



安全・訓練等の実施記録

実施年月日	令和 2年 6月 11日 (木曜日) 8時 ~ 10時
実施場所	ドリコウェルテクノ(株)上多賀倉庫
参加者	安全管理者 氏名 平田外司夫 、外作業員 4名
研 修 訓 練 等 の 内 容	
<p>①工事・作業に於ける注意事項周知</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・有資格者による作業及び手順の厳守。 ・高所作業時の安全帯の使用と強風時の作業中止による安全確保。 ・クレーン作業時の定格荷重の厳守と吊り荷下に入らない。 ・作業前KYミーティングの実施。 <hr/> <p>②作業外の注意事項周知</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の通行者・工事部外者へ注意し作業を行う事。 ・工事範囲を表示・安全フェンス等で区画する事。 ・周辺道路への泥水の流出に注意し、適宜場内・搬入口等の清掃を行う事。 ・資材搬入・出時は一般車両優先で誘導作業を行う事。 	
	

安全・訓練等の実施記録

実施年月日	令和 2年 7月 15日 (水曜日) 8時 ~ 10時
実施場所	立石湯現場作業所
参加者	安全管理者 氏名 平田外司夫 、外作業員 4名
研 修 訓 練 等 の 内 容	
<p>○不注意・不安全行動の撲滅</p> <hr/> <p>・労働災害の9割は人的ミスで発生しており、要因として未熟・不慣れや、 精神・肉体的な疾患、年齢による身体機能の低下、慢性的な慣れや悪習慣 等が挙げられる。</p> <hr/> <p>・もう一つの要因として、現場環境・安全管理・作業条件不備などにより事故 が発生している。</p> <hr/> <p>【本現場での対策】</p> <hr/> <p>・安全を第一に作業前の場内整理及び機材の整備を行い、効率では無く適 切な通路での移動並びに安全作業を行う事。</p> <hr/> <p>・声掛けでお互いの安全を守り共同作業に従事する事。</p>	
	

安全・訓練等の実施記録

実施年月日	令和2年8月18日(火曜日)	8時～	10時
実施場所	ドリコウェルテクノ(株)上多賀倉庫		
参加者	安全管理者 氏名 平田外司夫、外作業員 5名		
研修訓練等の内容			
<p>○作業中の熱中症の撲滅</p> <p>・屋内・外問わずに、高温下で長時間の作業に従事した場合、体温調節や循環機能に障害が起こり熱中症を発症する。症状により、緊急を要する重度な熱射病から、軽度の熱疲労が挙げられる。</p> <p>【本現場での対策】</p> <p>①屋外作業の点から、出来るだけ直射日光を避け日除け等で抑制し、作業中は送風機等で適宜作業員の体温に配慮する。</p> <p>②作業中は、短い間隔での休憩時間を設け、水分並びに塩分を十分摂取出来るようにし、急な体温上昇に対応出来るようアイスノンを常備する。</p> <p>③作業前KY活動時にお互いの体調を確認し、各自健康管理に注意する事。</p>			
			

安全・訓練等の実施記録

実施年月日	令和2年9月9日(水曜日)	8時～	9時
実施場所	ドリコウェルテクノ(株)上多賀倉庫		
参加者	安全管理者 氏名 平田外司夫、外作業員 4名		
研修訓練等の内容			
<p>①工事状況と今後の作業予定の説明</p> <p>・検層後、100Aケーシングパイプの挿入作業を行う、第三者の入場も増える為、場内整備と周囲の安全を確認しながら作業にあたる事。</p> <p>②今までの作業中の反省と今後の対策</p> <p>・雨天時・後の転倒やスリップが見られたが、階段昇降時や歩行中の足元は特に、細心の注意で作業を行うようにする事。</p> <p>・今後の作業で揚湯時の火傷や、解体時の機材の落下、手足の挟まれ・転倒当の事故の危険性が挙げられるが、今まで同様に気を引き締めて安全な作業に従事する事。</p>			
			

安全・訓練等の実施記録

実施年月日	令和 2年 10月 1日 (木曜日) 8時 ~ 10時
実施場所	ドリコウエルテクノ(株)上多賀倉庫
参加者	安全管理者 氏名 平田外司夫 、外作業員 4名
研 修 訓 練 等 の 内 容	
<p>【災害防止の為の周知】</p> <hr/> <p>①お互いに声を掛け合い、安全確認を徹底する事。</p> <hr/> <p>②作業前KY活動及び機器点検の実施。</p> <hr/> <p>③安全な作業に必要な保護具を定め、作業者に装着を徹底させる事。</p> <hr/> <p>④安全に作業が行えるように作業スペースの整理整頓を行う事。</p> <hr/> <p>⑤作業手順の徹底を厳守する事。</p> <hr/> <p>◎本現場を事故ゼロで工事完了で迎えらるよう、今後も安全第一で協力して作業に従事していく事。</p> <hr/>	
